

別表1：「臨床実践能力の指標」（基本）

	内 容	項 目	レベルⅠ：「新人」	レベルⅡ：「一人前」	レベルⅢ：「中堅」	レベルⅣ：「達人」
看護実践能力	適切な看護ケアを提供するために知識・技術を統合的に活用し、適切な判断のもとに看護を実践する能力	知識・技術、アセスメント、看護過程、倫理的配慮	内視鏡検査・治療に伴う基本的な看護を助言や支援を得ながら実践できる	内視鏡検査・治療に伴う個別的な看護を自立して実践できる	内視鏡検査・治療に伴う看護を総合的に判断でき根拠に基づいた看護実践ができる	内視鏡検査・治療に求められる、新しい知識・技術を持ち、多様なアプローチによる創造的な看護が実践できる
マネージメント能力	適切な看護ケアの提供及び組織の目標を達成するために、看護師に求められる役割や責任を遂行する能力	問題解決、目標達成、社会人・職業人としての行動、医療安全	看護職に求められる役割・責任を知る	部署内において看護職に求められる役割・責任を理解し、マニュアルに沿った行動がとれる	部署・組織内において求められる役割・責任を遂行するための管理行動がとれる	組織内外において求められる役割・責任を遂行するための管理行動がとれる
人間関係調整能力	患者・家族及び医療チーム内の信頼関係を構築する能力	コミュニケーション技術、アサーティブな自己主張、積極的・協調的な行動、対象の尊重	患者・家族、医療チーム内で適切なコミュニケーションができる	患者・家族を中心とする医療チームの中で積極的なコミュニケーションができる	患者・家族を中心とする医療チームの中で調整役割をとることができる	患者・家族を中心とする医療チームを構成し組織内外の調整ができる
教育・研究能力	看護の質を確保するため自己や他者を教育し、多様なニーズに対応するための研究を行う能力	自己教育、業務改善・研究、スタッフ教育、学生指導	必要な知識・技術を習得するためにマニュアルを活用し自己学習する	必要な知識・技術を習得するためにセミナー・研修を受ける、根拠に基づく実践のために文献や研究を活用する	根拠に基づく実践のために研究する、スタッフ・学生に必要な知識・技術を伝達する	根拠に基づく研究を統合し新たなエビデンスを構築する、スタッフを教育するプログラムや環境調整を構築する

パトリア・ベナーによる「初心者」はこのラダー段階表からは外している。その理由は、内視鏡室に配属される看護師は看護の基礎教育において「検査を受ける患者の看護」については経験または体験しているため、初心者期はマスターしていると考えられる。